

（参考）

2019年3月期 第2四半期連結決算概要

2018年11月1日
三井化学株式会社
(単位：億円)

1. 損益状況

	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増減	2018年 3月期実績	2019年3月期 業績予想 (11/1発表値)	
					通期	増減
売上高	6,209	7,209	1,000	13,285	15,400	2,115
営業利益	482	497	15	1,035	1,060	25
経常利益	499	584	85	1,102	1,170	68
親会社株主に帰属する 当期純利益	382	418	36	716	800	84
配当金（円/株）	45	50	5	90	100	10

注：2018年3月期第2四半期の配当金につきましては、2017年10月1日付で普通株式5株を1株とする株式併合を行っておりますが、株式併合考慮後に換算して表示しております。

2. セグメント別 売上高・営業利益
・売上高

(単位：億円)

	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増減			2018年 3月期実績	2019年3月期 業績予想 (11/1発表値)	
			計	増減			通期	増減
				数量差	価格差			
モビリティ	1,534	1,952	418	311	107	3,310	4,010	700
ヘルスケア	681	712	31	35	△4	1,391	1,470	79
フード&パッケージング	950	966	16	△7	23	1,958	2,060	102
基盤素材	2,922	3,463	541	57	484	6,377	7,610	1,233
その他	122	116	△6	-	△6	249	250	1
合計	6,209	7,209	1,000	396	604	13,285	15,400	2,115

・営業利益

(単位：億円)

	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増減				2018年 3月期実績	2019年3月期 業績予想 (11/1発表値)	
			計	増減				通期	増減
				数量差	交易条件	固定費他			
モビリティ	220	201	△19	28	△28	△19	423	425	2
ヘルスケア	48	63	15	14	△4	5	108	130	22
フード&パッケージング	101	88	△13	1	△10	△4	199	215	16
基盤素材	154	184	30	△7	68	△31	389	370	△19
その他	△5	△12	△7	-	-	△7	△9	△10	△1
全社費用等	△36	△27	9	-	-	9	△75	△70	5
合計	482	497	15	36	26	△47	1,035	1,060	25

3. 特別損益主要内訳

(単位：億円)

	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増減	2018年 3月期実績	2019年3月期 業績予想 (11/1発表値)	
					通期	増減
資産売却益	32	2	△30	36	2	△34
事業譲渡益	-	7	7	6	7	1
債務免除益	20	-	△20	20	-	△20
固定資産処分・売却損	△4	△12	△8	△24	△75	△51
減損損失	-	△7	△7	△150	△7	143
投資有価証券評価損	-	△2	△2	△51	△2	49
火災による損失	-	△15	△15	-	△15	△15
その他	-	-	-	3	-	△3
合計	48	△27	△75	△160	△90	70

4. 貸借対照表

(単位：億円)

	資産の部				負債及び純資産の部		
	2018/3末	2018/9末	増 減		2018/3末	2018/9末	増 減
流動資産	7,313	7,748	435	有利子負債	4,637	4,670	33
有形固定資産	4,329	4,369	40	その他負債	3,804	3,960	156
無形固定資産	315	306	△ 9	自己資本	5,116	5,535	419
投資等	2,356	2,489	133	非支配株主持分	756	747	△ 9
資産計	14,313	14,912	599	負債純資産計	14,313	14,912	599
				(NET D/Eレシオ)	(0.75)	(0.67)	(△ 0.08)

注：税効果会計基準改正の影響等により、2018年3月末の貸借対照表残高を組み替えております。

5. キャッシュ・フロー

(単位：億円)

	2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増 減	2018年 3月期実績	2019年3月期 業績予想 (11/1発表値)	
					通 期	増 減
営業キャッシュ・フロー	491	535	44	827	1,050	223
投資キャッシュ・フロー	△ 210	△ 268	△ 58	△ 751	△ 900	△ 149
(フリーキャッシュ・フロー)	(281)	(267)	(△ 14)	(76)	(150)	74
財務キャッシュ・フロー	△ 166	△ 120	46	△ 102	△ 150	△ 48
そ の 他	△ 5	6	11	△ 15	-	15
現預金等増減	110	153	43	△ 41	0	41
現預金等残高	939	941	2	788		

6. 主要指標

		2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	増 減	2018年 3月期実績	2019年3月期 業績予想 (11/1発表値)	
						通 期	増 減
研究開発費	億円	162	177	15	334	360	26
減価償却費	億円	221	243	22	457	500	43
設備投資額	億円	270	245	△ 25	812	740	△ 72
金融収支	億円	△ 7	△ 3	4	△ 7	△ 10	△ 3
期末有利子負債残高	億円	4,380	4,670	290	4,637	4,820	183
Net D/Eレシオ	倍	0.70	0.67	△ 0.03	0.75	0.70	△ 0.05
期末従業員数	人	13,521	17,640	4,119	17,277	17,700	423
為替レート	円/US\$	111	110	△ 1	111	110	△ 1
国産ナフサ価格	円/KL	37,600	51,100	13,500	41,900	54,600	12,700
連結会社数	社	130	156	26	154	156	2



2019年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2018年11月1日

上場会社名 三井化学株式会社

上場取引所 東

コード番号 4183 URL <https://www.mitsuichem.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 淡輪 敏

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 小久江 晴子 TEL 03-6253-2100

四半期報告書提出予定日 2018年11月13日 配当支払開始予定日 2018年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2019年3月期第2四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第2四半期	720,915	16.1	49,740	3.1	58,407	16.9	41,760	9.4
2018年3月期第2四半期	620,855	9.2	48,247	6.3	49,944	19.2	38,184	37.5

(注) 包括利益 2019年3月期第2四半期 56,067百万円 (5.0%) 2018年3月期第2四半期 53,412百万円 (589.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第2四半期	210.15	—
2018年3月期第2四半期	190.84	—

当社は、2017年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、「1株当たり四半期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第2四半期	1,491,237	628,210	37.1
2018年3月期	1,431,309	587,222	35.7

(参考) 自己資本 2019年3月期第2四半期 553,513百万円 2018年3月期 511,586百万円

税効果会計基準改正の影響等により、2018年3月期の連結財政状態の各数値を組み替えております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	9.00	—	45.00	—
2019年3月期	—	50.00	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	—	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、2017年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。2018年3月期の1株当たり期末配当金については、当該株式併合後の金額を記載し、年間配当金合計は「—」として記載しております。

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,540,000	15.9	106,000	2.4	117,000	6.2	80,000	11.8	402.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

当社は、2018年11月1日開催の取締役会において、自己株式の取得について決議いたしました。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該事項による影響は考慮しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付資料】12ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、【添付資料】12ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2019年3月期2Q	204,510,215 株	2018年3月期	204,454,615 株
------------	---------------	----------	---------------

② 期末自己株式数

2019年3月期2Q	5,770,918 株	2018年3月期	5,766,674 株
------------	-------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2019年3月期2Q	198,713,149 株	2018年3月期2Q	200,083,164 株
------------	---------------	------------	---------------

(注)当社は、2017年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、実際の業績等は、今後の様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提条件その他関連する事項については、【添付資料】4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

また、当社は以下のとおり経営概況説明会を開催する予定です。

・2018年11月15日(木)……経営概況説明会

【添付資料の目次】

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	12
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	12
(会計方針の変更)	12
(追加情報)	12
(セグメント情報)	13
(重要な後発事象)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(全般的状況)

当第2四半期連結累計期間(2018年4月1日～2018年9月30日の6ヶ月間。以下「当四半期」といいます。)における事業環境は、米国での景気回復が継続した一方、米国の通商政策や地政学的なリスクなど、世界経済の変動に留意すべき状況が継続しました。日本においては、相次いだ自然災害の経済に与える影響に留意すべき状況があったものの、雇用・所得環境の改善や堅調な企業収益の継続により、緩やかな回復基調が継続しました。

このような情勢のもとで、当社グループの当四半期の業績は以下のとおりとなりました。

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益
当四半期	7,209	497	584	418
前年同四半期	6,209	482	499	382
増減額	1,000	15	85	36
増減率(%)	16.1	3.1	16.9	9.4

売上高は、前年同四半期に比べ1,000億円増(16.1%増)の7,209億円となりました。これは、販売が堅調に推移したことに加え、ナフサなどの原燃料価格上昇に伴う販売価格上昇の影響等があったことによるものです。

営業利益は、前年同四半期に比べ15億円増(3.1%増)の497億円となりました。これは、固定費の増加があったものの、販売が堅調に推移したこと及び交易条件の改善があったことなどによるものです。

経常利益は、前年同四半期に比べ85億円増(16.9%増)の584億円となりました。これは、持分法による投資利益が増加したことなどによるものです。

特別損益は、前年同四半期に比べ資産売却益が減少したこと及び債務免除益が無くなったことに加え、火災による損失が発生したことなどにより、27億円の損失となりました。

以上により、**税金等調整前四半期純利益**は、前年同四半期に比べ10億円増(1.7%増)の557億円となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期に比べ36億円増(9.4%増)の418億円となり、1株当たり四半期純利益は210.15円となりました。

当四半期のセグメント別の状況は、次のとおりです。

(モビリティ)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ418億円増の1,952億円、売上高全体に占める割合は27%となりました。一方、営業利益は、販売数量が拡大しましたが、原料価格上昇及び固定費の増加により、前年同四半期に比べ19億円減の201億円となりました。以上により、セグメント全体では、増収・減益となりました。

自動車部品及び樹脂改質材用途を中心とする**エラストマー**は、堅調な需要に的確に対応しましたが、原料価格上昇の影響を受けました。

機能性コンパウンド製品は、主にアジア、欧州での堅調な需要に的確に対応しました。

ICT(情報通信技術)関連用途を中心とする**機能性ポリマー**は、販売が堅調に推移しました。

海外**ポリプロピレン・コンパウンド**事業は、アジアを中心とした自動車生産台数の増加に的確に対応しました。

2018年1月に株式会社アーク及びその企業グループを連結子会社とし、これらの会社の売上高、利益等を「ソリューション事業」として、連結しております。

(ヘルスケア)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ 31 億円増の 712 億円、売上高全体に占める割合は 10%となりました。また、営業利益は、原料価格上昇の影響があったものの、総じて堅調な販売により、前年同四半期に比べ 15 億円増の 63 億円となりました。以上により、セグメント全体では、増収・増益となりました。

ビジョンケア材料のメガネレンズ用材料は、販売が堅調に推移しました。

不織布は、高機能品の販売は安定的に推移しましたが、日本からの紙おむつ輸出減少の影響を受けました。

歯科材料は、販売が安定的に推移しました。

(フード&パッケージング)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ 16 億円増の 966 億円、売上高全体に占める割合は 13%となりました。一方、営業利益は、販売は総じて堅調に推移しましたが、原料価格上昇及び固定費の増加により、前年同四半期に比べ 13 億円減の 88 億円となりました。以上により、セグメント全体では、増収・減益となりました。

コーティング・機能材は、販売が堅調に推移しましたが、原料価格上昇等の影響を受けました。

機能性フィルム・シートは、原料価格上昇の影響があったものの、総じて堅調な販売となりました。

農薬は、販売が堅調に推移しました。

(基盤素材)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ 541 億円増の 3,463 億円、売上高全体に占める割合は 48%となりました。また、営業利益は、堅調な国内需要の影響及び市況の上昇により、前年同四半期に比べ 30 億円増の 184 億円となりました。以上により、セグメント全体では、増収・増益となりました。

ナフサクラッカーの稼働率は、大阪工場用役プラント火災の影響により前年同四半期に比べ低下したものの、概ね高水準で推移しました。また、**ポリエチレン**及び**ポリプロピレン**は、国内需要を背景に販売が堅調に推移しました。

フェノールは、前年同四半期を上回る水準で海外市況は推移し、需要も堅調に推移しました。

(その他)

当セグメントの売上高は、前年同四半期に比べ 6 億円減の 116 億円、売上高全体に占める割合は 2%となりました。また、営業損失は、前年同四半期に比べ 7 億円増の 12 億円の損失となりました。

(2) 財政状態に関する説明**(資産、負債、純資産の状況)**

当四半期末の**総資産**は、前期末に比べ 599 億円増の 1 兆 4,912 億円となりました。

当四半期末の**負債**は、前期末に比べ 189 億円増の 8,630 億円となりました。また、**有利子負債**は 33 億円増の 4,670 億円となりました。この結果、総資産に対する有利子負債の比率は前期末に比べ 1.1 ポイント減の 31.3%となりました。

当四半期末の**純資産**は、前期末に比べ 410 億円増の 6,282 億円となり、**自己資本比率**は前期末に比べ 1.4 ポイント増の 37.1%となりました。

以上により、当期末の**ネットD/Eレシオ(ネット有利子負債(有利子負債一現預金・長期性預金)／自己資本)**は、前期末に比べ 0.08 ポイント減の 0.67 となりました。

なお、税効果会計基準改正の影響等により前期末の連結貸借対照表残高を組み替えており、組み替え後の数値で前期末比較を行っております。

(キャッシュ・フローの状況)

当四半期の現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前期末に比べ153億円増加し、当四半期末には941億円となりました。

・営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によって得られた資金は、前年同四半期に比べ44億円増の535億円となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益が増加したことなどによるものです。

・投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によって使用された資金は、前年同四半期に比べ58億円増の268億円となりました。これは主として、設備投資による支出の増加があったことなどによるものです。

・財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によって使用された資金は、前年同四半期に比べ46億円減の120億円となりました。これは主として、有利子負債の借入額が増加したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明**(業績の見通し)**

業績予想の修正にあたり、通期の為替レートは通期110円/\$（10月～3月 110円/\$）、国産ナフサ価格は通期54,600円/KL（10月～3月 58,000円/KL）を前提としております。

通期の業績につきましては、ナフサなどの原燃料価格上昇に伴う販売価格上昇等により、モビリティ、基盤素材の各セグメントにおいて売上高は増加する見込みです。また主として、持分法による投資利益の増加などにより、経常利益も増加する見込みです。

(単位：億円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益 (円)
前回発表予想(A)	14,900	1,060	1,120	800	402.65
今回修正予想(B)	15,400	1,060	1,170	800	402.56
増減額(B-A)	500	0	50	0	
増減率(%)	3.4	0	4.5	0	
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	13,285	1,035	1,102	716	358.38

※当社は、2018年11月1日開催の取締役会において、自己株式の取得について決議いたしました。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該事項による影響を考慮しておりません。

(セグメント別の見通し)

セグメント別の見通しは、以下のとおりであります。

(単位：億円)

	売上高						合計
	モビリティ	ヘルスケア	フード& パッケージ ジング	基盤素材	その他	全社 費用等	
前回発表予想	3,880	1,500	2,100	7,170	250	—	14,900
今回修正予想	4,010	1,470	2,060	7,610	250	—	15,400
増減額	130	△30	△40	440	0	—	500

(単位：億円)

	営業利益						
	モビリティ	ヘルスケア	フード& パッケージ ジニング	基盤素材	その他	全社 費用等	合計
前回発表予想	450	130	230	330	0	△80	1,060
今回修正予想	425	130	215	370	△10	△70	1,060
増減額	△25	0	△15	40	△10	10	0

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	80,209	96,828
受取手形及び売掛金	306,899	299,462
たな卸資産	274,342	309,835
未収入金	60,356	60,125
その他	10,193	9,230
貸倒引当金	△673	△637
流動資産合計	731,326	774,843
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	343,555	349,478
減価償却累計額	△236,725	△240,713
建物及び構築物（純額）	106,830	108,765
機械装置及び運搬具	997,563	1,015,825
減価償却累計額	△865,884	△878,666
機械装置及び運搬具（純額）	131,679	137,159
土地	159,018	158,355
建設仮勘定	20,462	18,253
その他	76,136	77,220
減価償却累計額	△61,217	△62,829
その他（純額）	14,919	14,391
有形固定資産合計	432,908	436,923
無形固定資産		
のれん	5,684	5,379
その他	25,792	25,257
無形固定資産合計	31,476	30,636
投資その他の資産		
投資有価証券	159,428	170,880
退職給付に係る資産	41,549	43,304
繰延税金資産	10,673	10,989
その他	26,369	26,221
貸倒引当金	△2,420	△2,559
投資その他の資産合計	235,599	248,835
固定資産合計	699,983	716,394
資産合計	1,431,309	1,491,237

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	162,179	173,177
短期借入金	94,348	98,653
1年内返済予定の長期借入金	24,834	13,802
コマーシャル・ペーパー	20,000	10,000
1年内償還予定の社債	15,426	426
未払金	69,299	76,540
未払法人税等	7,956	7,878
役員賞与引当金	158	104
修繕引当金	13,585	9,314
その他	35,320	36,222
流動負債合計	443,105	426,116
固定負債		
社債	31,864	66,650
長期借入金	274,099	274,361
繰延税金負債	13,240	16,225
役員退職慰労引当金	250	219
修繕引当金	2,880	2,127
環境対策引当金	675	573
退職給付に係る負債	55,220	55,189
資産除去債務	4,330	4,492
その他	18,424	17,075
固定負債合計	400,982	436,911
負債合計	844,087	863,027
純資産の部		
株主資本		
資本金	125,125	125,205
資本剰余金	89,327	89,407
利益剰余金	291,000	323,818
自己株式	△19,842	△19,856
株主資本合計	485,610	518,574
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,558	31,315
繰延ヘッジ損益	△16	△131
為替換算調整勘定	5,037	8,358
退職給付に係る調整累計額	△5,603	△4,603
その他の包括利益累計額合計	25,976	34,939
非支配株主持分	75,636	74,697
純資産合計	587,222	628,210
負債純資産合計	1,431,309	1,491,237

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	620,855	720,915
売上原価	474,468	562,088
売上総利益	146,387	158,827
販売費及び一般管理費	98,140	109,087
営業利益	48,247	49,740
営業外収益		
受取利息	556	901
受取配当金	1,471	1,587
持分法による投資利益	2,344	8,635
為替差益	161	835
その他	2,229	1,129
営業外収益合計	6,761	13,087
営業外費用		
支払利息	2,735	2,834
その他	2,329	1,586
営業外費用合計	5,064	4,420
経常利益	49,944	58,407
特別利益		
固定資産売却益	2,555	37
投資有価証券売却益	679	168
事業譲渡益	—	743
債務免除益	2,010	—
特別利益合計	5,244	948
特別損失		
固定資産処分損	440	1,356
固定資産売却損	4	9
減損損失	—	660
投資有価証券評価損	—	168
火災による損失	—	1,501
特別損失合計	444	3,694
税金等調整前四半期純利益	54,744	55,661
法人税等	10,560	9,654
四半期純利益	44,184	46,007
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,000	4,247
親会社株主に帰属する四半期純利益	38,184	41,760

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	44,184	46,007
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,077	4,843
繰延ヘッジ損益	0	△122
為替換算調整勘定	4,859	6,553
退職給付に係る調整額	832	1,036
持分法適用会社に対する持分相当額	460	△2,250
その他の包括利益合計	9,228	10,060
四半期包括利益	53,412	56,067
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	46,577	50,724
非支配株主に係る四半期包括利益	6,835	5,343

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	54,744	55,661
減価償却費	21,795	23,937
のれん償却額	337	329
減損損失	—	660
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	197	195
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△2,350	△1,053
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	77	109
修繕引当金の増減額 (△は減少)	△3,258	△5,024
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	△30	△102
受取利息及び受取配当金	△2,027	△2,488
支払利息	2,735	2,834
持分法による投資損益 (△は益)	△2,344	△8,635
投資有価証券売却損益 (△は益)	△679	△155
固定資産除却損	405	484
固定資産売却損益 (△は益)	△2,551	△28
売上債権の増減額 (△は増加)	11,489	9,275
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△9,774	△32,165
仕入債務の増減額 (△は減少)	△12,470	9,893
その他	1,259	8,218
小計	57,555	61,945
利息及び配当金の受取額	3,014	3,062
利息の支払額	△2,750	△2,819
法人税等の支払額	△8,670	△8,727
営業活動によるキャッシュ・フロー	49,149	53,461
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△19,705	△26,102
有形固定資産の売却による収入	2,617	50
無形固定資産の取得による支出	△1,192	△979
長期前払費用の取得による支出	△128	△36
投資有価証券の取得による支出	△2,330	△698
投資有価証券の売却及び償還による収入	944	305
事業譲渡による収入	—	743
その他	△1,240	△91
投資活動によるキャッシュ・フロー	△21,034	△26,808

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	692	3,853
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	—	△10,000
長期借入れによる収入	1,000	8,183
長期借入金の返済による支出	△3,565	△19,768
社債の発行による収入	10,000	35,000
社債の償還による支出	△10,071	△15,214
自己株式の売却による収入	3	1
自己株式の取得による支出	△60	△14
配当金の支払額	△9,003	△8,941
非支配株主への配当金の支払額	△5,012	△4,996
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△548	—
その他	△68	△98
財務活動によるキャッシュ・フロー	△16,632	△11,994
現金及び現金同等物に係る換算差額	△152	621
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	11,331	15,280
現金及び現金同等物の期首残高	82,884	78,828
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△300	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	93,915	94,108

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(「税効果会計に係る会計基準の適用指針」の改正)

「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 平成30年2月16日)が改正され、第1四半期連結会計期間の期首より適用しております。これに伴い、子会社株式等に係る将来加算一時差異について、予測可能な将来の期間に当該株式の売却等を行う意思がない場合を除き、繰延税金負債を計上する方法へ変更しております。

この結果、前連結会計年度の連結貸借対照表は、長期繰延税金負債が618百万円減少、利益剰余金が462百万円増加、非支配株主持分が156百万円増加しております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首より適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報)

前第2四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年9月30日)

①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	モビリティ	ヘルスケア	フード& パッケージング	基盤素材	計		
売上高							
外部顧客への売上高	153,428	68,059	94,984	292,232	608,703	12,152	620,855
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,293	1,206	572	31,382	38,453	26,263	64,716
計	158,721	69,265	95,556	323,614	647,156	38,415	685,571
セグメント利益又は セグメント損失(△)	22,002	4,832	10,084	15,367	52,285	△498	51,787

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他関連事業等を含んでおります。

②報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	52,285
「その他」の区分の損失(△)	△498
セグメント間取引消去等	42
全社費用等(注)	△3,582
四半期連結損益計算書の営業利益	48,247

(注)全社費用等は、主に報告セグメントに帰属させることが適当でない一般管理費及び新事業に係る研究開発費等であります。

当第2四半期連結累計期間（自2018年4月1日至2018年9月30日）

①報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	モビリティ	ヘルスケア	フード& パッケージング	基盤素材	計		
売上高							
外部顧客への売上高	195,233	71,176	96,639	346,254	709,302	11,613	720,915
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,288	1,417	632	37,900	45,237	27,831	73,068
計	200,521	72,593	97,271	384,154	754,539	39,444	793,983
セグメント利益又は セグメント損失(△)	20,110	6,285	8,816	18,442	53,653	△1,210	52,443

(注)「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その他関連事業等を含んでおります。

②報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	53,653
「その他」の区分の損失(△)	△1,210
セグメント間取引消去等	△67
全社費用等(注)	△2,636
四半期連結損益計算書の営業利益	49,740

(注)全社費用等は、主に報告セグメントに帰属させることが適当でない一般管理費及び新事業に係る研究開発費等であります。

(重要な後発事象)

(自己株式の取得)

当社は、2018年11月1日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、下記のとおり自己株式取得に係る事項について決議いたしました。

(1) 自己株式の取得を行う理由

株主還元の充実及び資本効率の向上を目的として、自己株式の取得を行うものです。

(2) 取得する自己株式の種類及び総数

普通株式 5,000,000株(上限)

(3) 取得する自己株式の総額

総額：10,000百万円(上限)

(4) 取得期間

2018年11月2日～2019年1月31日

(5) 取得の方法

自己株式取得に係る取引一任契約に基づく市場買付